

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2015-227149(P2015-227149A)

【公開日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-114543(P2014-114543)

【国際特許分類】

B 6 0 R 22/20 (2006.01)

B 6 0 R 22/26 (2006.01)

B 6 0 N 2/44 (2006.01)

B 6 0 R 22/32 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 22/20

B 6 0 R 22/26

B 6 0 N 2/44

B 6 0 R 22/32

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月4日(2017.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

ストライカの中央部32bを折曲して段部を設け、ストライカを段付き形状に成形すれば、ショルダウェーピング18cの折り返し部が中央部に引っ掛かりやすく、ショルダウェーピングの横滑りを防止することができる。

また、図3(B-1)のようにストライカの自由端32aを折曲すれば、ショルダウェーピング18cの横滑りや自由端からのショルダウェーピングの脱落を確実に防止できる。

さらに、図3(A-1)ではストライカの自由端32aを後方に折曲させているが、前方に折曲してショルダウェーピング18cを挿通させてもよい。また、ストライカの自由端32aを前後に折曲せず、自由端、凹部のシート内方側の側面20S'間からショルダウェーピング18cの折り返し部を差し入れて、ショルダウェーピングをストライカに挿通させてもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0049】

図7に示すように、ストライカ132がシートバック背面方向(前方)に変形したときにストライカを支える支え16a'をシートバック背面に設けてもよい。支え16a'はストライカの自由端132aの前のシートバック背面に設けられ、たとえば、弾性体から略半円球状に形成される。

【手続補正3】

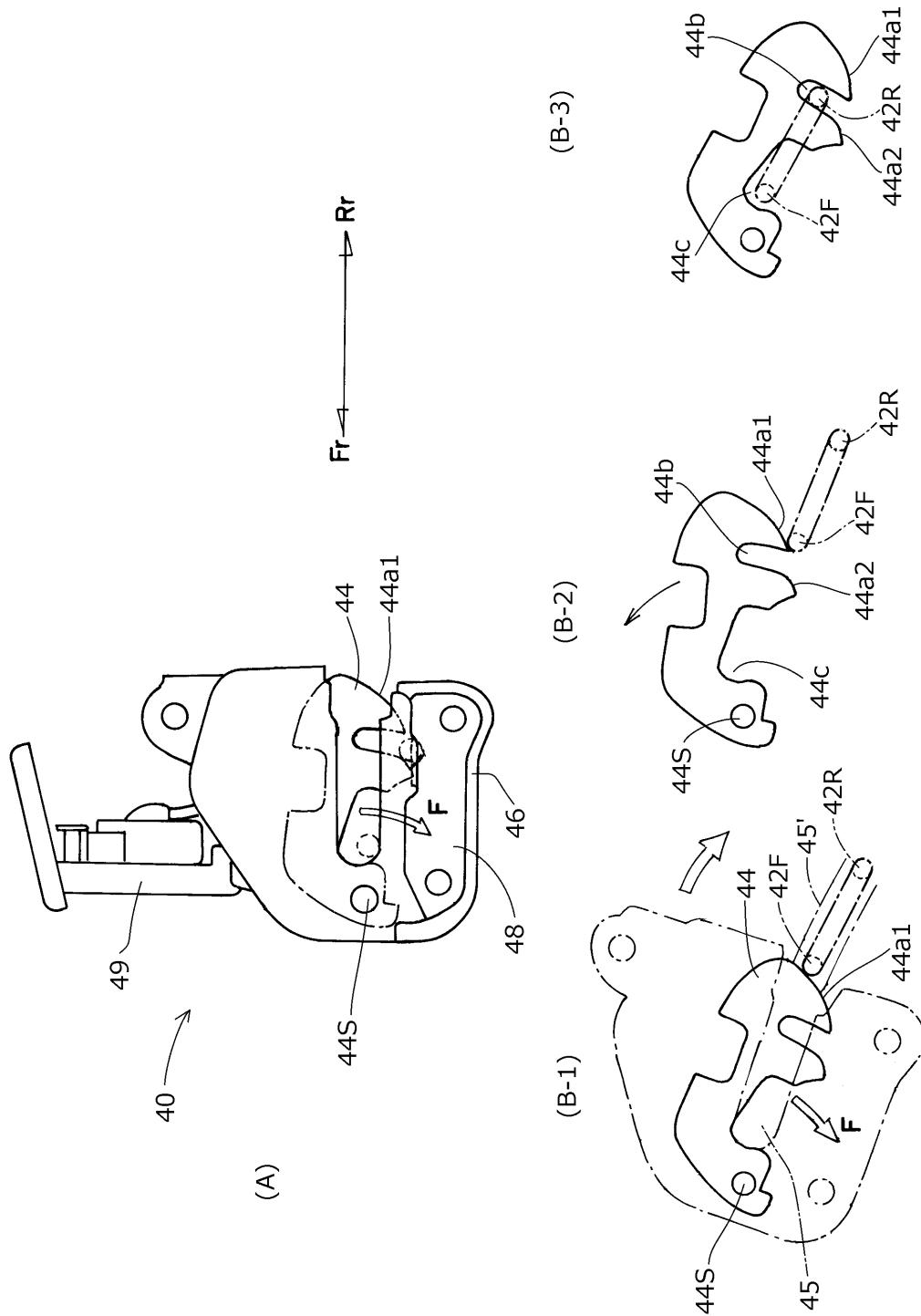
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 4】

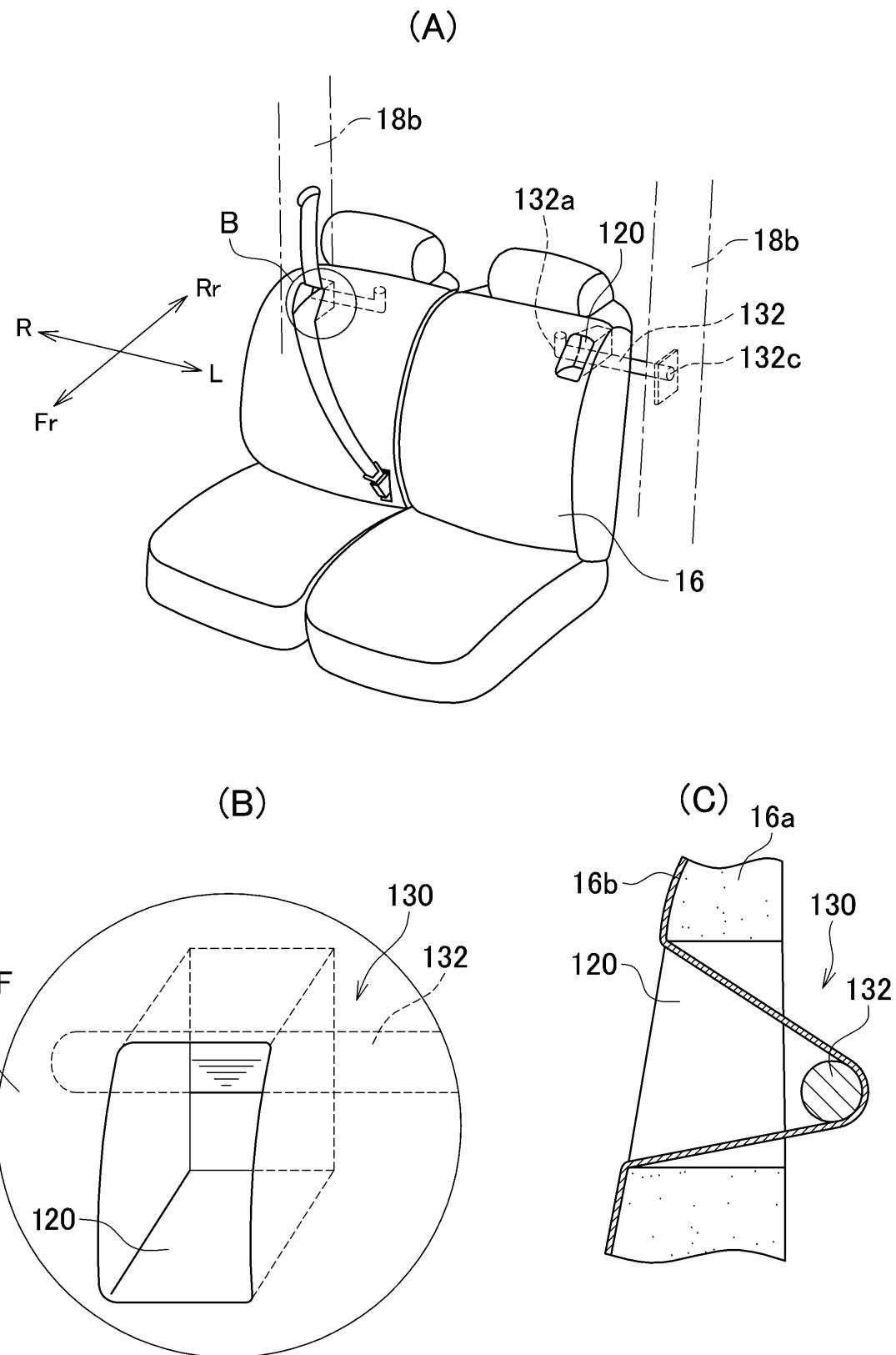
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

